

No. 1388

谷沢、独走か

— セ・リーグ首位打者 —

セ・リーグの打撃ベストテントップを行く中日ドラゴンズ谷沢選手。このところ打撃好調で激しいデッドヒートを展開していたヤクルトの若松選手を一步リード。10月7日行われた中日対ヤクルト18回戦、若松選手は左ふとももの肉ばなれでベンチに谷沢2回目のバッターボックス。見事にライト前にはじき返し再び打率を3割7分台に乗せた。そして5回、宇野のランナー一掃のホームランのあとの3打席目。一、二塁間をゴロでやぶるヒット、ライバルを尻目にこの試合2本目のヒット。若松も負けてはならじと7回代打で登場。しかし若松は平凡な内野ゴロ、この瞬間2人の打率に2分の差がついた。ランナー一塁二塁のチャンスに4回目の打席に立った谷沢、しかし当りそこないの内野ゴロ。この日4打数2安打と打率を0.371と大きくアップ。両アキレス腱故障を克服した谷沢、52年以来2度目のセ・リーグ首位打者を手中にしたようだ。

首都の花決まる

— 第24回ミス東京コンテスト —

首都の女王を選ぶミス東京コンテスト決選大会が9月30日、東京日比谷公会堂で華やかに行われました。東京全域の地区ミス47人がお揃いのカクテルドレスに身を包み、出場しました。玉置宏さんの司会でひとりひとり舞台の中央に進み美と知性を競いました。このコンテストは東京都が後援で東京新聞が主催、審査には鈴木東京都知事をはじめ15人があたりました。一人づつ一問一答形式で審査は進みます。最後は舞台を降りて審査員に大サービス。審査の結果、ミス東京第2位には菅麻也子さん（19才、世田谷区代表）と永谷まゆみさん（22才、秋川市代表）の2人が、晴れのミス東京第1位には岡さつきさん（19才、武蔵野市代表）が選ばれました。ミス東京は今後一年間首都の花として米国を親善訪問するなど活躍することになっています

豊かな暮らしをめざして

めざましい発展を遂げる情報化。毎年10月1日から一週間は情報化週間です。初日の10月1日、東京赤坂で「生活と情報化」をメインテーマに開かれた記念式典では情報化促進週間。標語の入選作品の表彰が行われました。第1位は岡本淳三さんの作「情報で豊かにひらく新時代」。いま情報処理関連機器システムまた医療情報機器システムはますます多様化しておおり、機能の高度化が望まれています。これに応えるべく、8月3日から東京晴海で「'80 情報処理連合展」が開かれました。この展示会は郵政省をはじめ5省庁、日本医師会などの後援で民間企業100社が参加、新製品、新システムが展示され、実演も行われました。これはコンピューターによる詰将棋。この他様々な情報処理システムが会場を埋めつくし、訪れる人々の関心を呼んでいました。コンピューターの利用を中心とした情報化は私たちの生活のあらゆる分野に浸透し、いまや欠くことのできないものとなったようです。